

目 次

1. はじめに	1
2. プロジェクト研究の体系と本研究の位置づけ	1
3. 物流予測モデルの概要	3
3.1 モデルの概要	3
3.2 モデルの予測結果の評価	3
4. FTA・EPAに関する条件設定	5
4.1 シナリオ設定と対象となる国・地域	5
4.2 関税率の設定	5
5. コンテナ発生集中度および港湾取扱量の予測結果	8
5.1 世界一発生集中度	8
5.2 日本一発生集中度	9
5.3 世界一港湾取扱量	10
5.4 日本一港湾取扱量－4大湾域	12
5.5 日本一港湾取扱量－地域	13
6. おわりに	82
参考文献	82
付録	83